

真生会富山病院を受診された患者の皆さま

当院は下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	鏡視下腱板修復術後における治療支援アプリ使用と患者立脚評価(Shoulder36)との関連
当院の研究責任者(所属)	角畑 智彬 (真生会富山病院 リハビリテーション科)
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	本研究の目的は、ARCR術後患者を対象として、治療支援アプリ「mymobility」を使用した群と使用しなかった群における、術後3か月時点の患者立脚型評価指標であるShoulder36(Sh36)を比較検討することである。 特に、疼痛や可動域、筋力といった身体機能面だけでなく、患者の主観的な回復実感や心理的側面を反映する「健康感」に着目し、治療支援アプリ使用の有無が患者のQOLに与える影響を明らかにすることを目的とする。 本研究により、ARCR術後における治療支援アプリの臨床的意義を明らかにし、今後の術後リハビリテーション支援体制の構築や、患者の主体的な治療参加を促進するための基礎的知見を得ることを目指す。
調査データの該当期間	研究実施期間:倫理審査委員会承認日から2027年3月31日 調査データの該当期間:2024年4月1日から2025年3月31日
研究の方法(対象となる方)	① 2024年4月1日から2025年6月30日までの期間に、当院においてARCRを施行された患者。 ② 術後に当院外来リハビリテーションを継続し、術後3か月時点まで経過観察が可能であった患者。 ③ 術後3か月時点において、患者立脚型評価指標であるSh36に自己記入で回答できた患者。 ④ 術後リハビリテーションの一環として、治療支援アプリ「mymobility」を使用した患者(アプリ使用群)および使用しなかった患者(アプリ非使用群)。 ⑤ 18歳以上の成人 ※ 年齢、性別、腱板断裂サイズ(小断裂・中断裂・大断裂)については制限を設けず、実臨床に即した対象とする。
研究の方法(使用する情報)	1. 患者背景:性別、年齢、身長、体重、合併症(高血圧、糖尿病など)、既往歴、現病歴(腱板断裂の発症時期および経過)、前治療歴(保存療法、注射治療、理学療法など) 2. 手術および術後管理状況:手術方法(鏡視下腱板修復術)、断裂サイズ(小断裂、中断裂、大断裂)、術後固定方法および固定期間、術後リハビリテーション開始時期 3. 治療支援アプリ使用状況:治療支援アプリ使用の有無、使用開始時期、使用期間、使用頻度(記録がある範囲で) 4. 併用療法:外来リハビリテーション実施の有無、理学療法・作業療法の内容、その他の併用治療の有無 5. 自覚症状および他覚所見の確認:問診による自覚症状の確認(疼痛、違和感など)、他覚所見の確認、記録がある場合はリハビリテーション記録等を参考に参考にする。なお、本項目はSh36の各下位尺度(疼痛、可動域、筋力、健康感、日常生活機能、スポーツ能力)に反映される主観的・客観的情報を補完的に収集することを目的としており、Sh36の評価結果との整合性を確認するために収集する。 6. 評価指標(術後3か月時点):Sh36の疼痛、可動域、筋力、健康感、日常生活機能、スポーツ能力、精神面 7. 有害事象および術後合併症:術後感染の有無、再手術を要する合併症の有無、その他、術後経過に影響を与える事象の有無
試料／情報の他機関への提供	該当なし
個人情報の取り扱い	使用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
本研究の資金源(利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
相談・問い合わせ・苦情	電話:0766-52-7779(内線2111) 担当者: 角畑 智彬 (作業療法士)
備考	